

# 武井 誠 活動報告

## 武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40  
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175  
<http://www.takei-makoto.org/>  
E-mail takei@sakado-gr.org

22号

- ◆ 4年間、毎議会で一般質問計 36 項目
- ◆ 坂戸市議会 12 月定例会一般質問等
- ◆ 「まち・ひと・しごと」坂戸市は
- ◆ 武井誠のお約束
- ◆ 無料法律・年金・市民生活相談ご案内

## 毎議会で一般質問、計 36 項目

4 年間の議会活動、武井誠は市民みなさまの要望をもとに、2012 年 6 月定例会から 2015 年 12 月議会まで、すべての定例会で一般質問を行ってきました。

◆  
学童保育指定管理制度 5 年延長と行政・事業者・保護者三者連携の重要性確認、県道ときがわ・坂戸線の道路冠水対策の推進、生活困窮者自立支援制度の活用、市内小中学校への被爆アオギリ植樹、福島第一原発事故被災者・児童への支援・交流などを実現することができました。

高齢者の人権についても様々な提言をしてきました。

◆  
特に、学校教育については、教員時代の経験を生かし、学校現場、子どもの声をもとに、地域、保護者、教職員が力をあわせて「子どもの権利条約」の精神を尊重した教育を実現するための具体的質問、提言を行ってきました（12 月議会の質問は 2 面）。

◆  
急激な少子高齢化、経済格差拡大、平和憲法の形骸化など、国も地方も大きな課題に直面しています。

市においては、総合振興計画、地方創生に基づくまち・ひと・しごと創生総合戦略（詳細は 3 面）をはじめとする様々な「計画」を、絵に描いた餅とせず、命、人権を大切にす視点から、具体的な施策として実現させていくことが求められています。

武井誠は、さらに、力を尽くします。

## 武井誠は SNS を活用しています

ホームページを毎日更新し、武井誠の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力して、**検索**をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも発信しています。

無料メールマガジンも始めました。毎月 1 日と 15 日に、発信しています。ホームページから、お申し込みください。



## 無料相談会継続中

日常生活での悩みごとに、弁護士、社労士、税理士、心理カウンセラーが無料で相談に応じる会を実施し、大変好評をいただいています。どうぞご利用ください。原則として 13 時～武井誠との市民生活相談、14 時～年金相談、15 時～法律相談です。税務、教育相談は随時となります（要予約）。

**1 月は 1 月 23 日（土）**

会場は、北坂戸文化施設オルモ

**2 月は 2 月 27 日（土）**

会場は、坂戸駅前集会施設

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。（ケイタイ 090-9854-5175）

# 武井誠の 一般質問

12月定例会、武井誠は教育問題を中心に、①全国学力テストの平均点公表②大規模校の教育条件整備③子ども・若者の貧困について質問しました。特に、学力テストの結果公表については、市民への説明責任を果たさずに同意したことについて、教育委員会を厳しく追及し、「配慮が足りなかった」との答弁がありました。

## 「平均点」だけで評価する危うさ

平均点の「一人歩き」は、学校の序列化や過度の競争主義に陥ることが心配されます。全国では現実に、執拗なドリル反復練習や、宿題の増加、授業時数増など、逆に子どもの意欲をそぐような悪循環が起こっています。

「子どもをほめる時、ほかの子と比較しない（入西小学校だより）」。「平均点だけを比べて子どもを評価するというのは、まさに、この理想と正反対の教育です。」

こういった指摘に対して、教育長からも「子どもたち一人一人を大切にすることを教育を行う」という答弁がありました。

「教えるとはともに希望を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと（ルイ・アラゴン）」社会の仕組みがきしんでいる今こそ、未来の主権者を育てる学校教育は、理想主義であってほしいと思います。

## 入西小学校は、「過」大規模校寸前



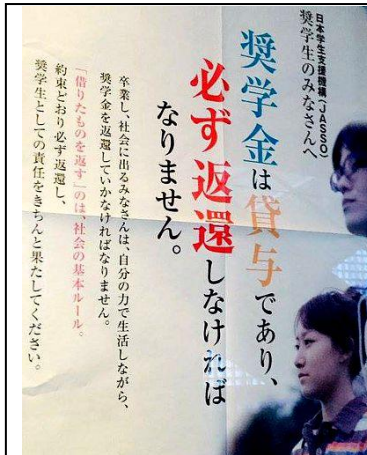
入西小学校の休み時間。校庭にあふれる児童たち

北坂戸小と泉小が統合される一方、入西小や、若宮中は、施設規模を大きく上回る児童生徒数を抱え、教育条件不備が心配されます。

特に入西小は、文科省の基準では、分離新設や学区見直しなしに、増改築することはできない「大きすぎる学校」に限りなく近い状況です。両校とも、この状況が今後何年も続きます。

これまでの経緯・現状、具体的課題と今後の取り組みについて質問し、学校事務、教職員用のパソコン整備については善処する旨の答弁を得ましたが、残念ながら、抜本的な解決にはほど遠い状況です。

## 給食費無償、給付型奨学金を



日本学生支援機構のポスターです。非正規雇用や労働基準法無視の「ブラック企業」「ブラックバイト」で働く若者たちは、これをどんな気持ちでみているのでしょうか。

家庭の経済格差が広がり、大学生の2人に1人は奨学金制度を利用し、卒業時には300～400万円の借金を抱えています。なおかつ大卒でも非正規雇用や長時間労働で、かつてのような年収や安定した生活を送れない若者たちは、奨学金の返還に苦しみ、結婚、出産どころではありません。一方、食事が十分にとれない、

栄養的に偏ったものしか食べられないという子どもたちの増加。日本の子どもの貧困率を坂戸市に当てはめると約2000人です。高齢者を含む家族全体の貧困が急速に進んでいます。

給食費の無償化、給付型奨学金創設の可能性について質問しましたが、具体的、前進的な答弁は得られませんでした。

「フードバンク」「子ども食堂」など、先進的な取り組みに学びながら、引き続き何かできる事はないか、考えていきます。

## 議員定数が2削減され20に

◆一部の議員から、2016年4月10日告示の坂戸市議会議員選挙から、現在22である定数を2削減して20とする議案が提出されました。◆付託された総務文教常任委員会で、私は「市民の声を市政に反映させるパイプが細くなるのは、民主主義、地方自治の後退である」との反対討論を行いました。採決の結果は、賛成2、反対2、棄権2。委員長の1票で可決すべきものと決定し、本会議でも可決されました。◆市民みなさんの「議員は仕事をしていないのに多すぎる」という声は真摯に受け止めねばなりません。◆しかし私は、市議会議員に不足しているのは、仕事の内容を市民みなさんに伝え、議論し、市政への市民参画を実現するための努力なのではないかと思っています。

# 「まち・ひと・しごと」坂戸市は

「坂戸市人口ビジョン」に基づく「坂戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終案が示されています。政府が進めている「地方創生戦略」にそって、急いでつくられたものです。国策については、地方消滅という言葉の持つ危機感で自治体間の競争を煽り、政府の求める方向に政策誘導をしようとする危うさを感じますが、傍観者的な論評をしていることはできません。内容の一端をお知らせします。ご意見をお寄せください。

## 高齢化が急速に進行

- ・ 今後、人口そのものは、緩やかに減少。
- ・ 高齢者の増加が急速に進む。
- ・ 地域間の人口、人口構成のアンバランス。
- ・ 特に住宅団地は急速に高齢化、人口減少。
- ・ 交通の利便性がある。大消費地に近い。
- ・ 災害も少なく、企業立地が見込まれる。
- ・ 長期的には首都圏全体が人口減少、高齢化。

「坂戸市人口ビジョン」に示された本市の基本的な特徴です。これに基づいて、政策が提案されています。

## 事業内容は玉石混交か

政策の多くは、すでに総合振興計画をはじめとする、市の様々な計画に掲げられたものが多いです。国策に振り回されないという意味では、あながち悪いこととは言えません。重要なのは「魂をいれる」ことだと思います。

一方、いくつか新規、あるいは具体化の提案されている事業もあります。たとえば、

- ・ 大学等新卒者居住支援事業
- ・ 婚活支援
- ・ 若年者就職支援、労働相談事業
- ・ 不妊治療費助成事業
- ・ 出生世帯向け商品券公布事業

- ・ 未熟児養育医療給付事業
- ・ 予防接種情報提供サービス事業
- ・ 妊娠・出産包括的支援事業
- ・ 実家保育助成制度
- ・ 子育て短期支援事業
- ・ 開発地区における産業基盤づくり推進事業
- ・ ファーマーズマーケット整備事業
- ・ 「ふるさと納税（まちづくり寄付金）」の啓発
- ・ 団地活性化推進事業
- ・ 坂戸版CCRCモデル化事業  
※健康時から介護時まで継続的ケアを提供する  
高齢者施設
- ・ マイホーム借り上げ制度活用促進事業
- ・ 川越都市圏まちづくり事業

大きな成果の期待できるもの、課題解決にはつながりにくい小手先の対策と考えられるもの、運用を誤ると大きな問題を生じかねないものなどが混在しています。また、市民に広く新しい提案を求めることも必要だと思います。

また、要介護高齢者生活支援事業について「サービス事業の実施に合わせ、受益者負担を徴収することで、限られた財源であっても利用者増に対応する」という記述がみられます。

国の福祉切り捨て政策がこういうところに影響しているわけですが、「受益者負担」の名のもとに、安易に利用者の負担増を容認することはできません。3月議会に向けて、みなさまのご意見をお聞かせください。

## 速報! 福島みずほが坂戸へ

旧友、福島みずほ社民党副党首が坂戸へ遊説に。今年夏の参議院議員選挙に、社民党から全国比例区に立候補予定の福島みずほ副党首が川越、坂戸に来訪することが決定しました。

とき 2016年2月12日（金）夕刻

ところ 坂戸市内駅頭、及び坂戸市文化施設オルモ

※詳細は決定次第、武井誠ホームページにアップします。



# 20年後を見据えて、次の4年間を

平和、福祉、環境、教育、私たちは今、大きな時代の転換点を生きています。すべての市民があたたかい心で過ごせる坂戸市を。人権の尊重される平和な社会を。安心して出産し、育て、暮らし、老いることができる街づくりを。武井誠は、次のことをお約束します。

## 私の約束



### 「励ます会」へのご入会を

私たちの「小さな声」で街を変えましょう。「武井誠を励ます会」に、どうぞご入会下さい。

活動報告、講演会、映画会、懇親会などのご案内をお届けします。

会員としての義務は特にありません。みんなで話し合っ活動します。ご連絡いただければすぐに、本人が伺います。

武井誠を励ます会会長 白石 俊夫

### ◆社会が支える子どもたちの成長

「共に生き、共に学ぶ」子どもが主人公の坂戸市を子ども子育て支援事業計画を推進  
学校給食の無料化、給付型奨学金制度の実現を働きながら子育てのできる環境整備  
学童保育整備事業を推進。

### ◆働きやすく暮らしやすい街へ

ワークルールの徹底、仕事と生活の両立をブラック企業、ブラックバイトの根絶  
企業誘致による雇用創出と地域産業活性化の両立障がい者の雇用対策、生活支援の充実  
公契約条例の制定を

### ◆安心・安全・快適な街づくり

家賃支援など若い世代が定住できる住宅政策  
戸建空き家の実態調査と具体的対応の推進  
通学路の安全対策、冠水対策  
近隣市町と連携した公共交通の充実

### ◆青い空、豊かな土、澄んだ水を未来へ

消費者と生産者をつなぐ地産地消の農業政策  
農地の持つ多面的機能の維持を  
高麗川、越辺川、飯盛川遊歩道整備事業の推進  
食品、土壌、大気中の放射能測定を継続

### ◆安心して老いることのできる街へ

高齢者コミュニティカフェの設置  
要介護高齢者生活支援事業の利便性向上  
公営の樹木葬・樹林墓地の設置を

### ◆みんなで育む自治・人権・平和

憲法違反の安保法制の廃止を  
「市民コメント」制度の充実  
差別根絶のための人権教育を推進